

平成31年度年間授業計画

教科科目		教科（ 家 庭 ） 科目（ 家庭総合 ）		単位数:【 1 単位】	
教科担当		(3100～3500組:蔵本・真崎・小宮)			
使用教科書:		家庭総合 自立・共生・創造 （東京書籍）			
副教材等:		生活ガイドブック データ&グラフ （教育図書）			
期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
一 学 期	4	第7章 衣生活 被服製作実習（エプロン， エコバッグの製作），伝統的 な衣服	製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。	被服実習作品(エプロン・エコバッグ)の 完成提出を必須とし、ノートなどの提出物、定期考査の得点、技術の習得、授業への意欲・関心等を総合的に判断して評価する。	33
	5	第1章自分らしい人生をつくる 青年期, 家庭の機能, 男女で 家庭を築く, 家族の問題点, 法律と家族 第7章 衣生活 被服製作実習（エプロン， エコバッグの製作），伝統的	自分自身について客観的に知り、生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解し、男女共同参画社会でのワークライフバランスがとれた生き方を考える。さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。家事労働・職業労働の意義、生活時間からみた現在の課題について理解する。家族に関する法律について理解し、現代の家族が抱える課題などを理解する。 製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。		
	6	第6章 食生活 栄養素 第7章 衣生活 なぜ服を着る？, 衣服の成り 立ちと性質, 衣服管理	日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。 衣服の起源や歴史、風土の学習を通して、衣服の機能や役割について理解する。衣服材料の種類・特徴・性能を理解する。 衣服の計画・購入・洗濯・保管について、環境に配慮した方法を理解する。 衣生活の現状や問題点を把握し、自分自身の衣生活と結びつけて理解する。		
	7	第3章 高齢期 高齢期の心身の特徴, 高齢期 の健康, 高齢期の生活, 支え るしくみ, 介護	高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになる。高齢者の心身の特徴や生活について理解する。高齢社会の現状と課題について理解する。介護保険制度などの社会保障、地域住民間での助け合いの活動、共生社会などを理解し、ホームプロジェクトを実践する。介護を必要としている高齢者一人ひとりに応じた介護の必要性和介助の基礎的な知識・技術を身につける。		
二 学 期	9	第8章 住生活 住まいの役割, 住空間, 安全・衛生, 文化・環境 第2章 保育 発育・発達, 親の役割, 子どもの生活・遊び, 健康・安全, 保育所実習（事前学習）	住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解する。ライフステージに合わせた安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環境にも配慮した住生活を送るための知識を身につける。住居の平面図を読みとることができるようになる。 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について考え、自分なりの意見を持つ。親の役割や子供を産み育てることの意義を学ぶ。生命の尊さを認識し、愛着の形成や社会的規範を身につけさせる上で、保育における親の役割を理解する。 保育所実習に向けて、事前学習・準備をする。	保育所実習および 調理実習のレポート 提出を必須とし、ノートなどの提出物、小テストや定期考査の得点、技術の習得、授業への意欲・関心等を総合的に判断して評価する。	42
	10	第2章 保育 発育・発達, 親の役割, 子どもの生活・遊び, 健康・安全, 保育所実習（事前学習） 第6章 食生活 安全・安心な食品、調理実習	子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について理解を深める。現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 保育所実習に向けて、事前学習・準備をする。 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。調理の基礎的な技術を習得する。 現代の食生活における食の安全に関する基礎的な知識を学習し、文化祭も視野に入れて、食品衛生についての理解を深める。		
	11	第2章 保育 発育・発達, 親の役割, 子どもの生活・遊び, 健康・安全, 保育所実習（事前学習・実施・事後指導）	保育所実習に向けて、事前学習・準備をする。 保育所実習を実施し、まとめのレポートを作成、子どもとかかわって生きることの理解を深める。 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解し、食事摂取基準について学習する。		
	12	第6章 食生活 食と暮らしのかかわり	行事食・郷土食・伝統的な加工食品・マナーなどの食生活の文化とその背景について知る。食品の自給率や食に関する環境について理解する。 自分の食生活・現代食生活の課題から、食生活の多様化や食環境の変化を知り、食生活と環境について科学的に考える能力を身につける。 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。		
三 学 期	1	第5章 消費生活 契約、消費者問題、消費者信用 第9章 生活設計 持続可能な社会、生活設計	家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。契約、多様な販売方法や支払方法、消費者問題などの消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 自身の生活を見つめ直し、持続可能な社会・循環型社会を目指して地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、実行できるようにする。 生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。	ノートなどの提出物、小テストや定期考査の得点、技術の習得、授業への意欲・関心等を総合的に判断して評価する。	30
	2	第4章 消費生活 契約、消費者問題、消費者信用 第9章 生活設計 持続可能な社会、生活設計	家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。契約、多様な販売方法や支払方法、消費者問題などの消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 自身の生活を見つめ直し、持続可能な社会・循環型社会を目指して地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、実行できるようにする。 生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。		
	3	第5章 消費生活 契約、消費者問題、消費者信用 第9章 生活設計 持続可能な社会、生活設計	家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。契約、多様な販売方法や支払方法、消費者問題などの消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 自身の生活を見つめ直し、持続可能な社会・循環型社会を目指して地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、実行できるようにする。 生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。		
					105